

和歌山だよいい

平成26年 3月号



道成寺（日高川町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P13
3. お知らせ…………… P14
4. ふるさと歳時記…………… P15～P16

「桜・舞・道成寺」では、桜満開の道成寺境内で舞踊公演が行われます。一般の方や子どもたちの演技や、沖縄組踊りなど「道成寺もの」が特設舞台で実施されます。



空気

山本七平さんの著書に「空気の研究」というのがあります。日本人は「空気」にすぐ従うというのです。空気とは、その時々圧倒的に主流となっている考えとか、ムードとか、大勢とかという言葉とも置き換えられると思いますが、一旦空気が決まったら皆が従って、それに異を唱える者はあまり快く思われません。昔から「和を以て貴しとなす」、我が国の風土の面目躍如たるものがあります。今はさらにマスコミの機能がこれを強めます。

戦前で言えば時の空気であった「聖戦」に反対する者は迫害されましたし、戦後空気が「反戦平和主義」になると、ミリタリーバランスとか抑止力とかを語る人はあまり好かれません。空気はどんどんと生まれ、最近では、「公共事業はとにかく悪」、「政権交代」、そして「地球環境問題の解決のためには化石燃料を極力減らす」から今度は一転して「脱原発」などなど時々の空気に沿わないと人にあらずというような風潮があります。そして、それに敢えて反する論陣を張る人には「空気を読めない人＝KY」というレッテルが貼られるのです。私も、かつて「KY知事」と言われ続けました。数年前、公共事業や高速道路建設は悪というのが世の空気であった時、和歌山の高速道路の建設は何故必要かについて論陣を張ったからです。また、政権交代の風の中で、新しい政権党の政策に迎合しないのはKYだ、と批判され続けました。

これらの空気には、私は、大いに真実が含まれていると思います。我々が耳を傾けなければならない現実と論理があります。しかし、一方でそれだけを重んじていたら我々が陥るかもしれない不都合な真実もあると私は思います。我々は空気の持っている意義は十分理解しながら、そのまま浸ってしまう危険もまた十分考え、どの辺に選択すべき解があるかをよく見極めなければなりません。特に皆から選ばれた政治の責任者はそうだと思います。そう思って、たとえKY知事と言われようとも、空気に迎合せず最善の解を県民の皆さんに説明できるように頑張っていきたいと思います。



2/25 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●平成26年度当初予算・新政策を発表！！

・平成26年度の新政策は、「安全と安心」の政策、「未来への投資」の政策が柱です。新年度も「元気な和歌山」の創造に向けて、暮らしを守るための政策や、本県の活力強化につながる政策を強力に推進します。

「安全と安心」の政策	「未来への投資」の政策
注力する主な取組 ◎防災・減災対策の推進 ◎地域医療体制の充実 ◎がん対策の推進 ◎高齢者が安心して暮らせる社会の実現 ◎切れ目のない少子化対策の推進	注力する主な取組 ◎紀の国わかやま国体・大会に向けてスパート ◎中小企業の育成 ◎農地集約化の促進 ◎都市の再開発 ◎幹線道路ネットワークの整備 ◎教育と文化の振興
平成26年度当初予算 5,681億円 ※公共投資予算 1,178億円 [対前年度比3.0%増]	

「安全と安心」の政策

1 【防災・減災対策の推進】

■災害予防の推進

<地震・津波対策>

- 住宅の耐震改修支援の充実
 - ・地震時の倒壊を防止するため、非木造住宅への補助を追加するなど補助制度を拡充し住宅の耐震化を促進
- 大規模建築物の耐震化促進
 - ・緊急に安全確保が必要な旅館や病院等大規模施設について全国トップレベルの補助制度で耐震改修を支援

<防災知識の普及・徹底>

- ◎和歌山県土砂災害啓発センター(仮称)の設置
 - ・国の土砂災害研究機関を誘致するとともに、紀伊半島大水害などの過去の土砂災害に関する記録・資料の収集や啓発・研修を行う施設を那智勝浦町に設置

■災害応急対策の充実

- 災害用緊急物資の計画的な備蓄の推進
 - ・梅干しを新たに備蓄食料に追加するとともに、平成31年度までに物資を計画的に備蓄する。さらに保健所等に保管場所を整備

2 【質の高い医療の確保と健康づくり】

■医療提供体制の構築

- 医療現場の療養環境の向上
 - ・入院機能のある小規模医療機関へのスプリンクラーの設置助成や、医療機器等の整備を促進することで地域の診療機能等を強化
- 看護職員の養成と確保対策の充実
 - ・看護職員の県内就職の促進と、救急看護認定看護師養成など技術向上のための研修機能の強化等

■生涯を通じた健康づくりの推進

- がん対策の総合的な推進
 - ・個別通知による受診勧奨のほか、胃がんのピロリ菌検査や肺がんの低線量CT検査の追加など対策を充実

3 【安心して暮らせる福祉社会の構築】

■老後の安心をもたらす介護・高齢者福祉の充実

<見守り>

- 地域や民間事業者による高齢者の見守りの推進

- ・地域における見守りや声かけボランティア活動等の全国一の地域見守り活動の更なる充実

＜健康＞

㊦健康推進員制度の創設

- ・地域において健康づくりの核となる健康推進員を養成し、県民総参加の健康づくり、介護予防、生涯現役社会の実現

＜安心＞

㊦施設等への緊急入所体制の構築

- ・介護保険施設の着実な整備と在宅サービスの充実に加え、介護家族の急病など緊急時に高齢者が施設に入所(ショートステイ)できる輪番制による体制を構築

＜産業化＞

㊦和歌山版リバースモーゲージ制度の検討

- ・自宅等の資産の利活用による老後資金の調達手法等を検討

■切れ目のない少子化対策の推進

○わかやま婚活支援

- ・地域の世話役ボランティア「わかやま結婚サポーター」を認定するとともに、婚活イベントを開催

○保育の質と量の充実

- ・保育士支援コーディネーターを県社会福祉協議会へ配置し、潜在保育士の再就職のあっせんや現職保育士の離職防止相談など保育士人材確保を強化

4 【生活環境の整備と治安の確保】

■安心して暮らせる生活環境の整備

○PM2.5 常時監視体制の強化

- ・微小粒子状物質(PM2.5)の常時監視体制を県内全域で構築し、その結果をわかりやすく公表

■生活の安全を脅かす犯罪への対応

㊦犯罪の徹底検挙のための捜査力強化

- ・高性能カメラやDNA型鑑定システムなど捜査機材を増設・強化

「未来への投資」の政策

1 【紀の国わかやま国体・大会に向けてスパート】

■男女総合優勝に向けた競技力の向上

○スポーツ競技力向上対策

- ・トップアスリート育成、ハイスクール強化校指定、医科学サポートの充実など一貫した選手育成を実施

■国体関連施設の整備

○三四六総合運動公園(田辺市)、セーリング関連施設(和歌山マリーナシティ)の整備を促進

- ・両施設を今年度中に完成させるための整備を促進

■開催の着実な推進と和歌山の元気づくり

○両大会を契機とした和歌山の元気づくり

- ・花いっぱい運動等の県民総参加事業を推進するとともに、きいちゃんステーションでの情報発信や県産品の積極的活用を推進

2 【地域経済を支える産業の強化】

■中小企業等の成長力の強化

＜ものづくりの革新＞

㊦産学共同研究支援

- ・県内企業の開発ニーズと大学研究者の技術をマッチングさせ、共同研究開始・新事業創出を支援

■新エネルギーの推進

○海洋エネルギーの開発・太陽光発電システムの普及促進

- ・和歌山沖の表層型メタンハイドレート賦存状況調査、海流発電の実証研究プロジェクトの推進、住宅用太陽光発電設備の導入支援

■雇用対策の推進

㊦高等学校就職支援プロジェクトの推進

- ・民間企業経験者等を県立高校に就職指導員として配置することで就職指導等を強化し、就職内定率を向上

■企業立地の促進

④あやの台北部用地(橋本市)の開発

- ・橋本市、南海電気鉄道(株)、県の3者で大規模内陸型工業用地を共同開発し、企業立地を推進

■観光産業の強化

○わかやま観光リレーキャンペーンの積極展開

- ・連続するビッグイベントを最大限に活用した誘客キャンペーンを切れ目なく展開

○和歌山でもてなす

- ・おもてなしトイレ大作戦の加速化とおもてなしタクシー大作戦

3【農林水産業の競争力強化】

■強みのある農林水産物づくり

④和歌山版農地活用総合支援

- ・JAが中心となった農地中間管理機構を新設し、農地の有効的な活用を促進

④野菜花き産地総合支援

- ・省エネ、高品質化等収益性向上のための施設整備や消費拡大活動などの取組を総合的に支援

■農作物被害対策の推進

○野生鳥獣被害対策とジビエ利用の推進

- ・有害鳥獣の捕獲対策の推進とともに、全国初のジビエ認証制度等による獣肉消費を促進

4【魅力ある地域づくり】

■中心市街地を核とした都市の再生

④都市空間の再構築戦略の推進

- ・ターミナル駅や県庁周辺地域エリアの活性化に向けた再開発や土地利用案の策定・提案により総合的なまちづくりを促進

■地域の魅力を活かした元気づくり

○自転車利用環境の整備

- ・地域の魅力が楽しめる広域的サイクリングロード整備や安全性を備えた都市部の自転車通行空間等を整備

5【成長を支える社会インフラ等の整備】

■幹線道路ネットワークの整備

○高速道路ネットワーク・川筋ネットワーク道路・府県間道路等の整備

- ・近畿自動車道紀勢線や京奈和自動車道、県内の直轄国道等、県内道路網の整備を推進

■将来の希望のプロジェクトの実現

○紀淡海峡ルートの実現に向けた機運醸成

- ・現国土軸のリダンダンシー(代替性)確保と多軸型の強靱な国土形成に資する紀淡海峡ルートの実現に向けた取組を実施

6【教育と文化の振興】

■豊かな心と健やかな成長の支援

○道徳教育の徹底

- ・県独自作成の教科書を活用し、「思いやり」「規範意識」「郷土愛」を学び人間力を高めるため、学校での道徳教育を徹底

■確かな学力の育成

④きのくに学力定着フォローアップ

- ・優れた教育実践力を持つ退職教員をアドバイザーとして派遣し、授業改善など学力向上に取り組む学校を支援

■文化・芸術・スポーツの振興

④岩橋(いわせ)千塚古墳群の保存の推進

- ・特別史跡岩橋千塚古墳群に隣接する大型古墳を特別史跡に追加指定するための調査を実施

④マスターズスポーツの推進

- ・「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催準備と生涯スポーツの推進

●「第8回わかやま産品商談会 in 大阪」開催！

・2月3日、大阪マーチャндаイズ・マート(大阪市中央区)において、「第8回わかやま産品商談会 in 大阪」を開催しました。今回も、「おいしい！健康わかやま」をテーマに、特色ある和歌山の食材、加工品、お酒、お菓子が集結する中、商談会の冒頭、仁坂知事は、「皆さんが腕によりをかけて作られたいろいろな産品をバイヤーの方に大いにアピールしてもらいたい。」と出展者を激励しました。



・新規12業者を含む77業者が出展し、百貨店・スーパーの商品仕入担当者や外食産業の関係者に自慢の商品をアピールするとともに、国内外のバイヤーによる個別商談会も併せて開催しました。



・また、大手食品メーカーと連携して生まれた生産量日本一を誇る山椒や梅を使った新商品の紹介コーナー、プレミアム和歌山の展示コーナーなども場内に設けられ、注目を集めました。

・さらに、今回、県が取り組んできた商談力や交渉力のスキルアップ研修(FCP=フード・コミュニケーション・プロジェクト)に参加した18社も出展。研修の成果を活かして商談に臨んでいました。

・来場者数は過去最高の515人と、通路が埋まってしまうほどの盛況で、和歌山の食を売り込む絶好の機会となりました。

●スーパーマーケットトレードショー2014に出展！

・2月12日から2月14日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「スーパーマーケット・トレードショー2014」に、和歌山県ブース「わかやま紀州館」を出展しました。



・この展示会は、スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する国内最大級のプロ向けの商談展示会で、和歌山県は6回連続の出展となりました。

・県ブースには、今年も梅干しやみかん、水産加工品のほか、今回初めての出展となる、ごま豆腐やぬか床、イノブタ加工品など、和歌山ならではの食材を加えたバラエティに富んだラインアップで、過去最大規模の10小間に18事業者が出展しました。



・首都圏をはじめ全国のバイヤーが3日間で8万人以上参加する中、おいしくて健康にもよい県産食材を大いにPRし、今後の販路拡大が期待されます。

○出展事業者

事業者名	商品	事業者名	商品
(株)いなみの里梅園	梅干、梅関連商品	(株)世界一統	リキュール、清酒
井上梅干食品(株)	紀州うす塩味梅、干し梅	J A 紀北川上	あんぼ柿、干し柿、柿酢等
河本食品(株)	梅干、梅酒、梅関連商品	(株)大覚総本舗	ごま豆腐、鍋用ごま豆腐等
関本宗一商店	梅干、まぐろのカマ等	(株)伊藤農園	柑橘ジュース、ゼリー等
永岡商品(株)	無調味しそ漬け梅等	(株)小南農園	柑橘ジュース、缶詰等
J A みなべいなみ	塩零梅、tomato-ume 等	(有)樽の味	熟成ぬか床、浅漬けの素等
紀州田辺うめ振興協議会	梅干、梅ジャム等	(株)いこの村わかやま	イノブタ「イブの恵み」等
(株)濱田	梅干、梅酒、梅関連商品	熊野の里(株)	冷凍めはり寿司、冷凍梅
(株)丸惣	梅干、バウムクーヘン等	クックベスト(株)	味付けポン酢赤ナマコ等

●第6回プレミア和歌山推奨品が決定！！

・2月25日、安心・安全を基本に「和歌山らしさ」、「和歌山ならではの」といった観点から県産品を認定・推奨する和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の第6回推奨品決定の発表及び内覧会を開催しました。

・仁坂知事が、プレミア和歌山推奨品審査委員会(残間 里江子委員長)の審査を経て決定した推奨品を発表した後、残間委員長から、本年度の推奨品のうち特に優れた製品に対する「審査委員特別賞」が発表され、表彰式も行われました。

<審査委員特別賞>

紀州備長炭干し、備長梅左衛門 真あじ(高下商店)

真あじの干物で、備長炭の粉末を敷き詰めたせいろに、水分だけを通す特殊セロハンで巻いて魚を並べ、その上にさらに備長炭をかぶせて作られます。こうすることで、空気に触れずに鮮度が保たれ、水分と臭みが備長炭に吸収されるため、うまみが凝縮された干物となります。お求めなど詳しくはこちらを御覧ください。<http://www.kishu-marutaka.net/>



○第6回プレミア和歌山推奨品一覧

事業者名	推奨認定品の名称	事業者名	推奨認定品の名称
てらがき農園	農薬を使用していない南高梅(昔梅)	株式会社吉村秀雄商店	古道の雫・天野米吟醸純米58%
株式会社紀州ほそ川	千年の知恵 うす塩味	初桜酒造株式会社	純米酒 高野山般若湯
	千年の知恵 しそ漬		こだわりの純米酒 高野山般若湯
	千年の知恵 はちみつ漬	有限会社垣内みそ店	湯浅なす 金山寺みそ
	千年の知恵 こんぶ漬	紀北川上農業協同組合	まるごと柿酢
	まるやか漬	築野食品工業株式会社	山椒香味油
株式会社つじや辻本商店	田舎漬	藤井商店	手造りかきもち だから大好き(もち菓子)ごまざんしょ
合同会社かつらぎ町あんぼ柿加工組合	あんぼ柿		手造りかきもち だから大好き(もち菓子)しょうが大好き
高下商店	紀州備長炭干し、備長梅左衛門 足赤えび	ル・パティスリー レピ マルカ	紀州パウム 備長炭
	紀州備長炭干し、備長梅左衛門 するめいか		紀州パウム じゃばら&有田みかん
	紀州備長炭干し、備長梅左衛門 真あじ		紀州パウム 梅
	紀州備長炭干し、備長梅左衛門 さんま	有限会社福梅本舗	フキユメ・ラ・ロール
魚義商店	紀州ゆあさ魚義 梅塩の干物 真サバの開き	株式会社福菱	川添茶ロール
まるとも海産	しらす佃煮	熊野の里株式会社	冷凍姫めはり寿司(しそ昆布)
	ちりめん山椒		冷凍姫めはり寿司(ひじきご飯)
	いかなごの釘煮	わかやま農業協同組合	梅ひと雫 Wakayama GingerAle
おざきのひもの	かます開干し	楽々果実工房	かんたん凍梅手作りキット
有限会社紀南水産	まぐろ山椒とろ炊き	有田食品株式会社	プロのカレー[ポークカレー]
	炙りくじら	一心農園	一心農園の富有柿 特選大玉果
株式会社吉村秀雄商店	和歌山純米・日本城	有田市観光協会	糸我得生寺の来迎会式
	日本城純米酒・根来		

・プレミア和歌山の詳細については、ホームページを御覧ください。
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/premierwakayama/>

●「和歌山おもてなしタクシー大作戦」実施中！

・県では、「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年を契機とした「和歌山デスティネーションキャンペーン」、高野山開創1200年に加え、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」など、ビッグイベントが相次いで実施されるゴールデンイヤーを迎えています。



・和歌山を訪れる観光客をはじめ多くの方

がタクシーを利用するこの機会に、タクシードライバーのおもてなし力向上を図るため、和歌山おもてなしタクシー連絡協議会(県、和歌山運輸支局、県タクシー協会、県個人タクシー協同組合、JR西日本和歌山支社)では、「和歌山おもてなしタクシー大作戦」を実施しています。

・利用者の方々に「また和歌山のタクシーに乗りたい」と思っただけのタクシーづくりを目指し、県内全タクシードライバー(1,725名)及び全タクシー事業者(74社)を対象に、接客・接客講習会を開催します。受講済みのドライバーに、優良ドライバーの証明として、ステッカー(右上図)・登録証・名刺を交付するとともに、駅前、県有施設等のタクシー乗り場へ優先的に配車します。また、「おもてなし力」維持のため、利用者アンケート、県民モニターの実施により、ドライバーへの継続的な見守りを実施していきます。

・このタクシーの運行は4月からを予定していますので、皆さんも御利用ください。

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会協賛企業等に感謝状贈呈



・2月4日と2月17日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度における「オフィシャルサプライヤー」に新たに決定した企業及び「きいちゃん募金」に多額の寄附をいただいた以下の企業に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。

・仁坂知事は各企業の皆さんに、お礼とともに「国体の開催準備は着々と進んでいます。これからは花いっぱい運動などの県民運動で機運を盛り上げていきます。」と述べました。

・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの大会運営経費に活用させていただきます。

○協賛企業

区分	企業名	提供内容	出席者
オフィシャル サプライヤー	(株)タカショー	会場内装飾物	公門 浩 取締役 総務部長
	おやつラボ紀の国(株)	花いっぱい運動用 プランター	八木 稔之 取締役
	紀の国住宅(株)	花いっぱい運動用 プランター	林 裕介 常務取締役

○寄附企業

企業名	出席者	企業名	出席者
(株)上市屋材木店	上市 恭司 代表取締役	第五工業(株)	山田 敬三 代表取締役
(株)中井組	中井 賢次 代表取締役社長	(株)共栄建設工業	小川 宗章 代表取締役

●「チーム和歌山応援団」結成及び「きいちゃんステーション」オープン！！

・2月9日、県J Aビルにおいて、県選手団「チーム和歌山」の「紀の国わかやま国体」における天皇杯獲得に向けて、県民みんなで応援するための組織「チーム和歌山応援団」結成イベントを実施し、帝京大学ラグビー部 岩出 雅之 監督、両大会イメージソング作詞作曲 ウインズ平阪 さんに応援団長に就任いただき、委嘱状を渡しました。

・岩出監督からは、「選手の皆さんには全力を期して夢に向かって頑張っていたきたい。より多くの方々に紀の国わかやま国体・大会が大きなイベントとして認知されることが未来にもつながっていく、という想いを積み上げながら私も皆さんと一緒に頑張っていきたい。」、ウインズ平阪さんからは、「音楽の力で皆さんを応援できればと思う。また、両大会時には何十万人もの方々が和歌山県にお越しになるので、このチャンスを活かして県民一丸となって和歌山の魅力をアピールしていきたい。」と就任に伴うメッセージをいただきました。

・また、同じく応援団長に就任した元体操日本代表選手 田中 理恵さんからもビデオメッセージが届けられ、「選手の皆さんには、上位を目指す上で、辛いことや苦しいことがたくさんある反面、苦勞を乗り越えたときの大きな喜びもある。同じ目標の仲間たちとのかけがえのない絆を深めつつ、是非とも頑張ってもらいたい。」と自身の経験も踏まえた激励の言葉をいただきました。

・さらに、同日、両大会マスコット「きいちゃん」グッズの販売をはじめ、両大会の情報や県の魅力を発信する「きいちゃんステーション」がJ R和歌山駅の商業ビル「和歌山ミオ」にオープンするにあたり、オープニングセレモニーを開催しました。

・下副知事、J R和歌山駅 熊井駅長、(株)和歌山ステーションビルディング 百田社長、「チーム和歌山応援団」団長に就任いただいた 岩出監督によるテープカットの後、きいちゃんステーション内覧会が行われ、初日から多くのお客さんで賑わいました。

・きいちゃんステーションは、同店のほか、J R和歌山駅構内のわかやま市観光案内所、J R紀伊田辺駅横の田辺市観光センター内、木紙布庵えん内にもオープンしています。また、移動型店舗として、和歌山三菱ふそう自動車販売(株)及び和歌山日野自動車(株)から提供いただいた「きいちゃんトラック」を活用し、県内のイベント会場等での出張販売も展開していきます。

・そのほか、両大会のオフィシャルサプライヤーとして、チーム和歌山応援団員証明書発行システムを提供いただいた リコージャパン(株) 坂主 常務執行役員関西営業本部長に、下副知事から感謝状を贈呈しました。



●紀の国わかやま国体・わかやま大会の情報発信に Twitter と L I N E を導入

・紀の国わかやま国体・わかやま大会に関する様々な情報発信をするため、facebook ページを開設していましたが、さらに、情報発信力を高め、より多くの皆さんに両大会の開催周知を図るため、新たな広報ツールとして、Twitter 及び L I N E を導入しました。皆さんも御登録の上、是非御覧ください。

<Twitter>

アカウント名：紀の国わかやま国体・大会 きいちゃん

ユーザー名：@kiichann2015

更新内容：イベントで活動中のきいちゃんが、リアルタイムでつぶやいています。

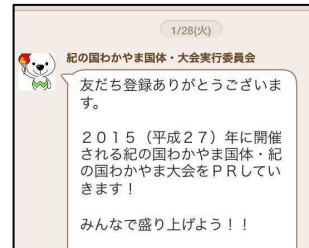


<LINE>

アカウント名：紀の国わかやま国体・大会実行委員会

ID：@kiichann2015

更新内容：募集情報やトピックス等の様々な情報を発信します。



イメージ

●県スポーツ賞表彰式を開催しました！！

・2月19日、和歌山市のホテルアバローム紀の国において、県スポーツ賞の表彰式を開催しました。この賞はスポーツ水準の向上や振興に貢献、又は素晴らしい成績を残した選手や団体に与えられるもので、今回で52回目となりました。スポーツ功労賞、スポーツ優秀指導者賞、スポーツ顕賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の5つの賞に個人118名と33団体が選ばれました。



・仁坂知事は、「年々、和歌山の選手層が厚くなっているように感じます。来年の国体では和歌山人のスポーツの真髄を発揮できるかが問われているので、今回の受賞を国体に向けての励みにしてください。」と激励、受賞者を代表してスポーツ功労賞の 田中 章二 さんが、「この表彰を励みに、今後のスポーツ界の向上に全力で貢献していくことを誓います。」と謝辞を述べました。

・今回は、ソチオリンピックのスピードスケートショートトラック代表 坂爪 亮介 選手をはじめ9歳から89歳の方が受賞されるなど、様々な競技で活躍されている幅広い年代の方々が表彰されました。主な受賞者は以下のとおりです。(敬称略、順不同)

スポーツ功労賞	スポーツの振興に著しい功績を挙げた方々		
田端 薫	永年にわたり県バレーボール協会の会長として競技の普及・発展に尽力		
冷水照夫	国際大会を招致するなど、県合気道連盟の役員として武道の振興に貢献		
田中章二	オリンピック選手を輩出するなど、体操競技の振興に貢献		
岩出雅之	本県出身で帝京大学ラグビー部監督として大学選手権大会5連覇達成		
スポーツ優秀指導者賞	スポーツ選手の育成に尽力した方々		
内田敏夫	ジュニア期の選手育成に手腕を発揮し、本県陸上競技の競技力向上に貢献		
吉田慶二	国体アーチェリー競技少年の部で監督を務め、卓越した指導力で2連覇達成		
スポーツ顕彰	国際的な大会で優秀な成績を挙げた方々		
古川高晴	アーチェリー競技	嶋本美愛	ウエトリフティング 競技
白草竜太	ウエトリフティング 競技	川畑源大	ウエトリフティング 競技
阪本直也	カヌー競技	坂爪亮介	スケート競技
松本伊世	フェンシング競技	九鬼 巧	陸上競技
日吉染業(株)ヨット部	セーリング競技		

●森林保全・管理に係る協定(企業の森)に2社調印で60社に

・2月12日、住宅基礎鉄筋加工業 南海スチール 株式会社(和歌山市)と、造成用集成材製造販売 丸紀木材工業 株式会社(御坊市)が、県の進める「企業の森」事業に参加していただけることとなり、調印式を開催しました。

・「企業の森」は、企業や労働組合などの方々にCSRや社会環境貢献活動、地域との交流活動の一環として、県内の森林環境保全に様々な形で取り組んでいただく事業で、調印式において仁坂知事は、「皆さんの大事な森なので、地元の方と交流していただいて、森が育つのを見守っていただければありがたい。」とお礼を述べました。今回の2社の参画により、参画団体数は60企業・団体、活動場所は61箇所となりました。

・南海スチール(株)は会社設立10周年記念事業として、丸紀木材工業(株)は会社設立60周年記念事業として、それぞれ「10年 あゆみの森」、「60年 感謝の森」との名称で、今後10年間にわたり広葉樹等を育林する活動に取り組みます。

○南海スチール株式会社「10年 あゆみの森」概要

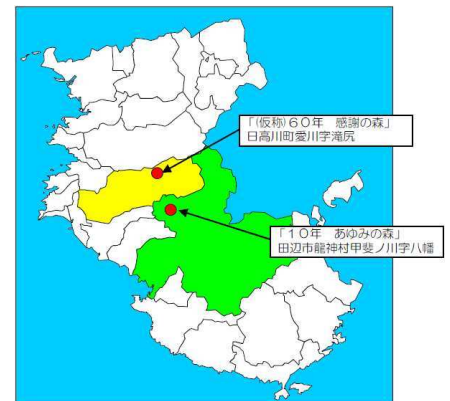
実施地：田辺市龍神村甲斐ノ川の山林 約0.5ha
植栽樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、ウバメガシ等広葉樹約1,000本

○丸紀木材工業株式会社「60年 感謝の森」概要

実施地：日高川町愛川の山林 約7.5ha
(植栽：0.5ha 間伐：7.0ha)

植栽樹種：イロハモミジ、コナラ、ヤマザクラ、ウバメガシ等広葉樹及びスギ、ヒノキ等の針葉樹約1,300本

間伐：スギ・ヒノキ林の間伐(間伐率概ね30%)



●台湾と産業連携に関する覚書を締結しました

・2月27日、県内企業と台湾企業との連携を推進するため、県と台湾政府経済部の「台日産業連携推進オフィス」との間で、産業連携に関する覚書を締結しました。

・台日産業連携推進オフィスは、日本の経済産業省に相当する台湾政府経済部が、台湾企業と日本企業との連携強化を促進するために平成24年3月に新たに設置した組織であり、同組織が締結する産業連携覚書の相手先としては、日本の地方自治体では三重県に次いで2番目となりました。

・調印式では、県の 藤本 商工観光労働部長と 台湾の 張 啓裕 同オフィス執行長が覚書に署名し、仁坂知事は、「お互いに弱いところを補い、強いところを伸ばしていきたい。この覚書締結が県と台湾が手を携えて発展していく第一歩となればと思う。」と期待を込め、台湾経済部工業局 呂 正華 副局長は、「実力のある企業との連携を通して、ウィンウィンの関係を構築したい。」と述べました。

・今後、この覚書に基づき、双方の連絡窓口の設置や情報交換の実施、ビジネスセミナーや県内企業と台湾企業とのビジネスマッチング等経済交流事業を実施していくこととなり、アジア市場への販路拡大が期待されます。



●「第10回国内観光活性化フォーラム」及び「第1回地旅博覧会」開催

・2月11日、和歌山市の和歌山ビッグウェーブにおいて、「第10回国内観光活性化フォーラム in 和歌山」が開催されました。このフォーラムは、全国各地の旅行業者や地域の観光業界・団体が参加し、国内観光産業の活性化への貢献、着地型旅行企画事業の成功を期すことを目的に開催されているもので、今回で10回目となりました。

・開会式では、主催者である一般社団法人 全国旅行業協会 二階 俊博会長が、「地元の観光関係者と当協会の会員とが強い絆で協力関係を結ぶとともに、国内観光の活性化と地域振興につながるようさらに努力して参りたい。」と挨拶し、続いて開催県を代表して仁坂知事が、「これからの2年間は特に全国から多くの方々がお越しになるので、全県あげておもてなしの心をもってお迎えします。」と歓迎のことばを述べました。

・このフォーラムでは、県出身で芥川賞作家 辻原 登 さんが、「わが聖地・熊野。～そして物語がはじまる～」と題した記念講演を行い、その後、ロンドンオリンピック女子体操日本代表 田中 理恵 さん、二階会長、仁坂知事のほか観光に携わる方々が参加して、「観光振興と未来の創造」と題し、それぞれの立場・角度からディスカッションを重ねました。



・二階会長は「観光は平和産業であるということが一番大切である。」、田中理恵さんは「オリンピック招致活動を通じ、おもてなしは良いもの、日本は素晴らしいところと感ずることができた。」、仁坂知事は「和歌山は、日本の和食文化、旅行、観光業(寛容)の心の始まりの地である。」と述べ、最後には「観光立国和歌山」を宣言しました。

・また、この日は隣の和歌山ビッグホールにおいて「第1回地旅博覧会 in 和歌山」も開催され、地元和歌山の和太鼓演奏や火縄銃の演舞、中国・韓国・ベトナムからの芸能、日本各地の芸能ステージ、ご当地キャラクターショーなどのほか、県内全市町村をはじめとする全国各地のブースにおいて、それぞれの魅力を存分にPRし、フォーラム及び博覧会は12,000人以上の来場者で盛大なものとなりました。



●東海和歌山県人会創立110周年総会・懇親会開催！！

・2月7日、「東海和歌山県人会総会・懇親会」が、名古屋国際ホテル(名古屋市中区)において盛大に開催されました。

・開会にあたり、山口 春三 会長は、「紀州会から始まり創立110周年を迎えることができ、嬉しい限り。記念事業として高野山や熊野へのふるさと訪問も考えている。また、国体に向けても県人会として協力していきたい。」と挨拶しました。続いて、仁坂知事は県人会の一世紀を超える活動を讃えるとともに、国体開催までの進捗状況やインフラ整備、婚活事業、観光振興など、県政の施策を幅広く紹介しました。

・110周年の記念の年にふさわしく、アメリカから南加和歌山県人会 有地 敏弘 会長をはじめ、県内市町村の首長も大勢お祝いに駆けつけました。

・懇親会では、鏡開きに引き続き、マグロが解体されて参加者に振る舞われたほか、沖縄民謡、抽選会などで大いに盛り上がりました。



●県では物品の購入等の際に県産品を優先して調達する制度を創設します

・平成26年4月から、「物品の購入にあたり県産品を優先して調達する制度」を創設し、県産品の利活用と県内産業の振興を図る取組を推進していきます。具体的な取組は以下のとおりです。

○公共調達

物品の購入における県産品活用の取組(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・県産品の登録制度を設け、簡易公開入札(予定価格が160万円以下のもの)において、県産品の価格が他よりも高くても、その価格差が1.1倍以内の場合は登録県産品を優先調達【全国初】 ・一般競争入札でも登録県産品の優先調達に努める
その他の役務の調達における県産品活用の取組(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・看板やノベルティの制作などの県からの委託業務実施時に県産品資材の活用を推奨
建設工事における県産品活用の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・建設資材等に県産品を優先使用しよう努力義務を規定 ・県産品建設資材を積極使用した場合には評価(工事成績評定、総合評価落札方式)
建設工事に係る委託業務における県産品活用の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・設計段階で県産品建設資材使用の検討を義務付け

○県が主催する行事における県産品の活用

会議等でお茶や水を提供する場合は、県産品を使用(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・県が主催する会議、委員会、審議会等において、ペットボトルのお茶や水を出す場合には、県産品を使用
乾杯を行う場合は、紀州の地酒等を使用(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・県が主催する行事で乾杯を行う場合には、紀州の清酒や梅酒等、県内で生産されたお酒を使用。ソフトドリンクで乾杯する場合にも、県産品を使用
会議で飲料を提供する代わりに、県産のみかんを提供
<ul style="list-style-type: none"> ・みかんの生産量や価格動向を踏まえ、県が主催する会議でお茶等飲料の代わりに「うんしゅうみかん」を提供

○関係機関、各種団体、市町村等へ県産品活用推進の働きかけ

県産品を優先調達・優先使用する取組を推進するよう働きかけ(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・県の関係機関や各種団体、市町村等における県産品の利活用状況を調査した上、取組の進んでいない団体等に対しては、県と同様に県産品を優先調達・優先使用する取組を推進するよう、説明会の開催や個別に要請するなどして働きかけ
乾杯を行う場合は、紀州の地酒等を使用するよう働きかけ(新たに実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・県の関係機関や各種団体、市町村等が主催する、各種大会や懇親会等の行事において乾杯を行う場合にも、できるだけ紀州の清酒や梅酒等、県内で生産されたお酒を使用するよう、説明会の開催や個別に要請するなどして働きかけるとともに、ホテルなどにも要請。ソフトドリンクで乾杯する場合も同様に、県産品を使用するよう働きかけ

●障害者雇用等に配慮した入札制度を創設します

・県では、障害のある人の就業と自立を支援するため、平成26年度から総合評価落札方式等の評価項目に障害者雇用への取組等を新たに追加し、企業における障害者雇用、障害者就労施設等からの物品や役務の調達を促進します。具体的な取組は以下のとおりです。

○導入の対象

・建設工事に係る委託業務・役務調達・指定管理者制度

○追加する評価項目

・障害者雇用への取組：法定雇用障害者数を超える障害者雇用を評価

法定雇用が義務付けられている常用雇用労働者数50人以上の場合

→法定雇用障害者数を超えていること

法定雇用が義務付けられていない常用雇用労働者数50人未満の場合

→障害者雇用人数が1人以上

・障害者就労施設等からの物品等の購入：障害者就労施設等からの物品等調達額を評価
調達実績額が年間20万円以上

●災害用備蓄食料として梅干しを購入します

・県では、災害時に避難された方の食料として、アルファ化米等約14.5万食を備蓄していますが、このご飯及びお粥の副食として、また、避難所での集団生活を強いられる被災者の健康保持のため、県特産の梅干しを以下のとおり災害用に計画備蓄します。

・品 目：白干し梅(県産梅使用、塩分20%程度)

・数 量：30万粒

・調達計画：平成25年度～平成29年度(6万粒×5カ年)

・保存期間：5年

・調達方法：条件付き一般競争入札

・その他：梅干しの効用

食中毒予防、ウイルス増殖・感染抑制、疲労回復、食欲増進、熱中症予防等

●東京の人気イタリア料理店で県産食材を使ったメニューを展開！

・先月号でもお知らせしましたが、県では従来から県産食材のプロモーションに積極的に取り組んでおり、先月のシンガポールに引き続き、日本の大消費地である東京において、「人気シェフ」による県産食材を使ったメニュー展開が実現することとなりました。

・東京の人気イタリア料理店「アンティカ・ブラチェリア・ベッリターリア」(東京都目黒区下目黒3-4-3)において、3月6日から4月5日まで県産食材を使ったメニューが提供されます。皆さんも機会がありましたら、是非、御賞味ください。

・また、3月6日発売の食の情報誌「料理通信」4月号誌面及びWEBにて、県産食材の魅力や可能性について特集記事が掲載されますので、こちらも是非御覧ください。

<http://r-tsushin.com/magazine/>

○「アンティカ・ブラチェリア・ベッリターリア」…東京・目黒 大鳥神社そばにある人気イタリア料理店。炭火焼きをメインディッシュとした素材を最大限活かした料理が人気。



県産メカジキのスマーク
マジヨラムの手打ちパスタ
(パッパルデッレ)
きのこのクリームソース

●関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会シンポジウム開催！

・12月号でお知らせしましたが、11月に東京で開催した関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会の設立記念シンポジウムに引き続き、大阪においてもシンポジウムを開催します。高速交通インフラ整備の意義や必要性を国等に対して強く働きかける機運を醸成していきますので、是非御参加ください。



日時：平成26年3月26日(水) 13:30～16:00
場所：大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)特別会議場(12階)
大阪市北区中之島5丁目3番51号
次第：基調講演「オールジャパンで進める国土強靱化」
藤井 聡 内閣官房参与・京都大学大学院工学研究科教授
パネルディスカッション「強靱な国づくりに求められる高速交通インフラの整備」
藤井 聡
西村 貞一 大阪商工会議所副会頭・株式会社サクラクレパス取締役
安藤 圭一 新関西国際空港株式会社代表取締役社長・CEO
飯泉 嘉門 徳島県知事
仁坂 吉伸 和歌山県知事
申込先：関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会事務局
(和歌山県企画部地域振興局総合交通政策課内)
必要事項(①氏名②所属団体名③連絡先④参加人数)を明示の上、以下の方法によりお申し込みください。
電話：073-441-2344 FAX：073-441-2340
E-mail：e0205001@pref.wakayama.lg.jp
申込締切：平成26年3月20日(木) (事前申込制)

イベント情報(3月11日～4月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
3/12	初午	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
		紀の川市・長田観音	長田観音 0736-73-3566
3/15	涅槃会	和歌山市・了法寺	了法寺 073-471-1376
3/17	春彼岸法要	那智勝浦町・ 那智山青岸渡寺	那智山青岸渡寺 0735-55-0404
3/20～ 4/10	桜まつり	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
3/21	紀州湯浅のシロウオ祭り	湯浅町・島之内商店街	湯浅町産業観光課 0737-63-2525
3/22	桜咲く咲く落語会	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029
3/25	和歌浦天満宮大祭	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
3/29～ 3/30	桜・舞・道成寺	日高川町・道成寺	日高川町企画政策課 0738-22-2041
3/30	すさみケンケンかつお祭り	すさみ町・すさみ漁協	すさみ町観光協会 0739-55-2004
3/30	孫市まつり	和歌山市・ 本願寺鷺ノ森別院	孫市の会事務局 073-423-3136
4/3	菓子まつり	海南市・橋本神社	橋本神社 073-494-0083
4/3	ひな流し	田辺市・伊作田稻荷神社	田辺観光協会 0739-26-9929
4/6	桃山まつり	紀の川市・桃山グラウンド	桃山まつり実行委員会 0736-77-2511
4/6	木祭り	和歌山市・伊太祁曾神社	伊太祁曾神社 073-478-0006



境内に約500本の桜の木が植えられている紀三井寺は、関西では早咲き桜の名所として有名です。また、開花宣言の目安となる和歌山地方気象台指定の標本木(ソメイヨシノ)が本堂前にあります。

紀三井寺の桜には為光上人にまつわるいわれがあり、龍神の招きを請け竜宮城に説法に行ったその帰り、7つの宝物(鈴、五鈷、錫杖、梵鐘、法螺貝、応同樹、七本桜)をもらったとされ、この七本桜の苗木が、後の桜の名所の起こりとなったとされています。

自然・風物情報(3月中旬～4月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
3月中旬	ツバキ見ごろ	紀の川市・桃源郷運動公園	紀の川市農業振興課 0736-73-3311
3月中旬	ハクモクレン見ごろ	田辺市・ ハウスシイタケ生産組合	中辺路観光協会 0739-64-0501
3月中旬	菜の花見ごろ	橋本市・小峰台	橋本市観光協会 0736-33-3552
		上富田町・市ノ瀬	上富田町総務政策課 0739-47-0550
3月中旬	生石高原山焼き	紀美野町／有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-2430
			有田川町商工観光課 0737-52-2111
3月下旬	サクラの開花	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
4月上旬	桃源郷モモ満開	紀の川市・桃山町	紀の川市商工観光課 0736-77-2511
4月上旬	シラス漁最盛期	湯浅町ほか	湯浅湾漁協 0737-62-4581
4月上旬	チューリップフェスタ	和歌山市・県立和歌山高校	県立和歌山高校 073-477-3933
4月上旬	こいのぼり丹生川渡し	九度山町・入郷	九度山町商工会 0736-54-4268
4月上旬	姫ひじきの収穫始まる	串本町・姫の磯	和歌山東漁協西向支所 0735-64-0501

見渡す限りのススキ群落が広がる生石高原は、関西有数の規模を誇り、山頂からは四国、淡路島や護摩檀山等の紀州の峰々の眺めを楽しむことができます。

ススキ草原の維持のため、NPOや地元町により刈取りや山焼きなどの自然環境保全活動が積極的に行われており、山焼きは3月の風物詩にもなっています。



～編集後記～

ようやく春らしい陽気も少しずつ感じられるようになり、県内では、梅の花から桃の花の季節へと移ろうとしています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

ところが2月には、2週にわたりびっくりするくらいの大雪が全国の広い範囲に大きな被害をもたらしました。和歌山でも市内で最大6cmの積雪を記録し、各地で交通機関は混乱し、また大きな農業被害も出ました。皆さん大丈夫でしたでしょうか。特に和歌山では数年に一度のこととであり、雪に対していかに脆弱であるか改めて実感したところです。

またさらに思ったことは、巨大地震が発生した場合です。

比べものにならない甚大な被害が想定されるため、災害に強い県土の整備は、県にとっては急務となっています。こうした中、近畿自動車道紀勢線「すさみ～串本間」が、来年度からの事業化候補として国道交通省から発表されたことは、喜ばしい限りです。地震・津波で一般道が崩壊した場合でも、命の道として支援に利用できることはもちろんのこと、交通の利便性が向上することで、大きなチャンスをつかみとる道ともなります。今月号の来年度新政策でも紹介しましたが、今後も悲願である紀伊半島一周道路の完成をはじめ幹線道路ネットワーク等の整備を、引き続き進めて参ります。

そのほか、高齢者が安心して暮らせる社会の実現、紀の国わかやま国体・わかやま大会に向けた一層の取組、中心市街地の活性化など、新年度も元気な和歌山の実現に向けた事業を展開して参りますので、御支援、御協力をよろしくお願いします。

早いもので今年度も残すところ1か月足らずとなり、和歌山だよりも来月号からは7年目に入ります。皆さんに楽しんでいただける紙面づくりを目指して参りますので、御意見、御要望等ございましたら下記までお寄せください。

地中の虫もそろそろ顔を出す頃ですが、急に寒くなることもあります。また花粉症の方には辛い季節で、近年ではPM2.5という微小粒子物質にも注意する必要があります。皆さんくれぐれもお気をつけください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)3月 NO.71

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022